



河野防衛大臣来沖



河野防衛大臣が、令和元年9月29日から30日の日程で、大臣就任後初めて沖縄を訪れました。

29日は渡具知名護市長及び久辺三区長との昼食懇談、宜野湾市役所の屋上より松川宜野湾市長からご説明を受けながら、普天間飛行場を視察し、玉城沖縄県知事と面談を行いました。翌30日は、キャンプ・シユワブを視察し、クラーディ四軍調整官と面談を行い、その後那覇航空基地等の視察及び訓示を行い、帰京しました。

○上部写真・玉城沖縄県知事(右)との面談 ○左上写真・宜野湾市役所屋上にて松川宜野湾市長(大臣右隣)から説明受 ○左下写真・松川宜野湾市長(右)との面談

目次

CONTENTS

河野防衛大臣来沖	1	保良鉦山地区における建設工事住民説明会について	5
渡辺防衛大臣政務官来沖	2	保良鉦山地区宮古島訓練場(仮称)整備工事の進捗について	5
大謝名児童センター完成	2	普天間飛行場代替施設建設事業について	6
牧港補給地区(国道58号沿い)の一部土地の引渡しについて	3	令和元年版防衛白書の刊行及び地方自治体への説明	7
那覇港湾施設移設に関する協議会の開催について	3	令和元年度在日米軍従業員永年勤続表彰式典	8
第27回防衛セミナーの開催について	4	辺野古区・豊原区民運動会開催	8
令和元年度防衛大臣感謝状の贈与について	4		

渡辺防衛大臣政務官来沖

渡辺防衛大臣政務官は、令和元年12月11日から12日の日程で、政務官就任後初めて沖縄を訪れました。

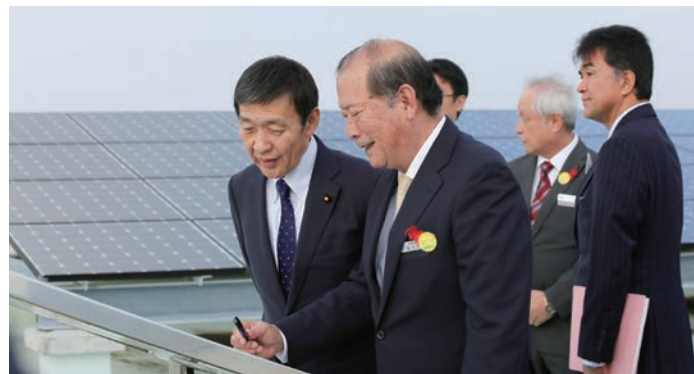
11日は、航空自衛隊那覇基地等の自衛隊施設を視察した後、平和祈念公園において戦没者墓苑に献花を行いました。翌12日には、キャンプ・シュワブを視察し、名護市役所において渡具知名護市長との面談、宜野湾市役所において松川宜野湾市長及び上地宜野湾市議会議長との面談を行いました。



戦没者墓苑へ献花を行う渡辺政務官



松川宜野湾市長との面談



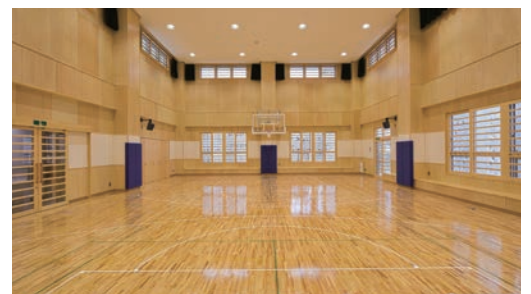
宜野湾市役所屋上から普天間飛行場を視察

大謝名児童センター完成

11月30日、地域における児童の健全な遊びや健康の増進、又は情操教育などの活動を目的として建設された「大謝名児童センター」の開所式及び内覧会が挙行され、子どもたちや保護者を始めとする多くの関係者が出席し、施設の開所を祝いました。



テープカットをする松川市長(中央)ほか



完成した児童センターの内観

本施設は、普天間飛行場を離発着する米軍航空機により生じる音響の障害の緩和に資するため、宜野湾市が民生安定助成事業(防音助成)を活用して整備したもので、放課後における子どもたちの憩いの場として利用され、遊びを通じた子どもたちの育成が可能となり、また、保護者の子育て支援の場としても利用されることが期待される施設であります。

当局といたしましては、本施設が子どもたちの健全な育成に有意義に活用されることを願うとともに、今後とも防衛施設周辺における皆様方の生活環境改善のためとなる各種施策の実施に取り組んでまいります。

牧港補給地区(国道58号沿い)の土地の引渡しについて

牧港補給地区(国道58号沿い)の返還地

牧港補給地区(国道58号沿い)は、平成30年3月31日に返還され、土壌汚染調査、不発弾探査等の支障除去措置を終え、令和元年9月30日に土地所有者の方々へ引き渡しを行いました。

当該返還地は、国道58号の交通渋滞緩和に向けて、現在、南部国道事務所が国道拡幅事業を実施しており、周辺地域の交通事情改善が期待されます。



那覇港湾施設移設に関する協議会の開催について



那覇港湾施設



協議会の様子

令和元年11月26日、防衛省(東京・市ヶ谷)において、国(防衛省、内閣府及び国土交通省)と沖縄県、那覇市、浦添市及び那覇港管理組合で構成する「那覇港湾施設移設に関する協議会(第26回)」が開催されました。本協議会は、那覇港湾施設の移設を円滑に進めるため、関係機関において、那覇港湾施設の移設に関連する諸措置を協議するために設置されたものです。

協議会においては、沖縄県から、沖縄県知事、那覇市長及び浦添市長による三者面談での確認事項の報告、那覇港管理組合から、浦添ふ頭地区調整検討会議での調整状況の報告がありました。その上で、浦添ふ頭地区調整検討会議において、事務的、技術的な検討をスケジュール感を持って行い、港湾計画の方向性を速やかに導き出すことを確認しました。

また、これまでの移設協議会において、「那覇港湾施設の移設については、民港の港湾計画との整合を図りつつ進めていく」ことが確認されており、これらを踏まえた上で、国としては、民港の港湾計画との整合を図りつつ、これと並行して、代替施設の配置に係る技術的な検討を防衛省及び国交省で実施し、早期に港湾計画の結論が得られるよう地元の関係機関を支援していくことを確認しました。

当局といたしましては、引き続き、本協議会を通じて、那覇港湾施設の移設を早期に実現できるよう取り組んでまいります。

第27回防衛セミナーの開催について

10月24日、嘉手納町中央公民館において「我が国を取り巻く安全保障環境について」をテーマに、2部構成で防衛セミナーを開催しました。

第1部では整備計画局防衛計画課企画調整官の谷本充也氏から「新たな「防衛計画の大綱」・「中期防衛力整備計画」について」、第2部では防衛研究所地域研究部中国研究室主任研究官の山口信治氏から「米中の戦略的競争」について講演いただきました。

当日は、約160名の方が来場され、「専門的な話が聞けて良かった。」「米中関係について勉強になった。」などの感想をいただきました。

当局では、防衛政策や自衛隊の活動等について、国民の皆様にご理解をいただけるよう、今後も防衛セミナーを開催してまいります。



会場の様子



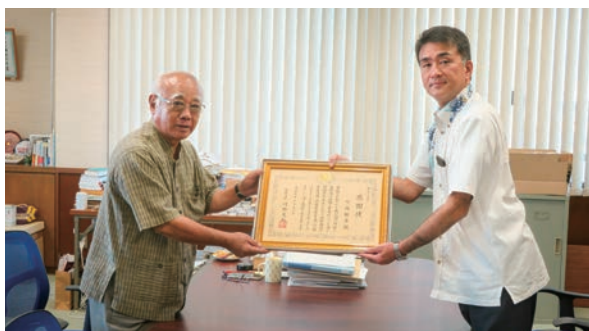
講師による講演の様子

令和元年度防衛大臣感謝状の贈与について

防衛省においては、例年、11月1日の自衛隊記念日に合わせて、防衛省・自衛隊の活動や事務の遂行に著しい功労があった方に対して、防衛大臣より感謝状を贈呈しています。

今年度、沖縄防衛局管内においては、防衛施設の安定的使用に多大なご協力を賜った下地宮古島市長をはじめ、4名の方に感謝状が贈呈されました。

当局といたしましては、これら4名の方のご理解・ご協力に深く感謝するとともに、今後とも、引き続き、防衛省・自衛隊の活動等に地元のご理解・ご協力をいただけるよう努めてまいります。



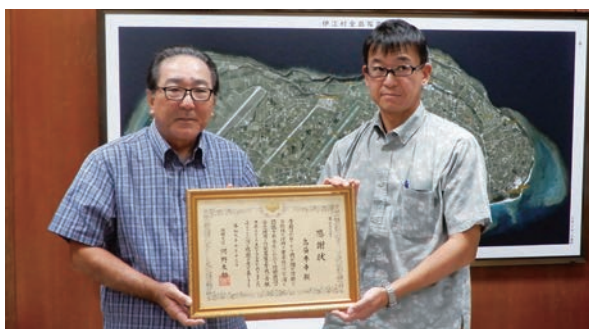
下地宮古島市長

田中局長



又吉宜野湾市地主会会長

脇坂管理部長(当時)



島袋伊江村長

村井企画部長



脇坂管理部長(当時)

眞喜志沖縄市地主会会長

保良鉱山地区における建設工事住民説明会について

防衛省は、令和元年10月3日に保良農村総合管理センターにおいて、保良地区及び七又地区の住民の皆様を対象とした「保良鉱山地区における建設工事住民説明会」を開催致しました。

今回の説明会では、地元の皆様のご理解を得るため、保良鉱山地区において、今後予定している建設工事の具体的な内容、工事に際して講じる様々な安全対策、環境対策の内容について、ご説明いたしました。

説明会に参加した住民の皆様との質疑応答においては、火薬庫の安全対策等、ご懸念等を払拭できるよう、丁寧な説明に努めました。

宮古島への部隊配備は、南西諸島における災害への対応を含め各種事態の抑止及び対処のための体制強化として、極めて重要な取組であり、防衛省といたしましては、引き続き、地元住民の皆様からのご理解・ご協力を頂けるよう、丁寧な説明に努めてまいります。



住民説明会の様子



建設工事について説明する村井企画部長

保良鉱山地区宮古島訓練場(仮称)整備工事の進捗について

南西地域の安全保障環境が厳しさを増している中、島しょ部の安心・安全の確保は重要であり、災害等の各種事態が発生した際、地域の皆様のお安全・安心を守るために迅速に対応する態勢を整えるため、宮古島への陸自部隊の配備を進めています。

宮古島における保良鉱山地区の整備工事については、10月7日から工事に着手したところです。当局といたしましては、工事の実施にあたり、作業の安全に十分留意し、地元住民の皆さまの生活環境にも配慮した上で、適切に実施してまいります。



右上：施設配置案(概略鳥瞰図)

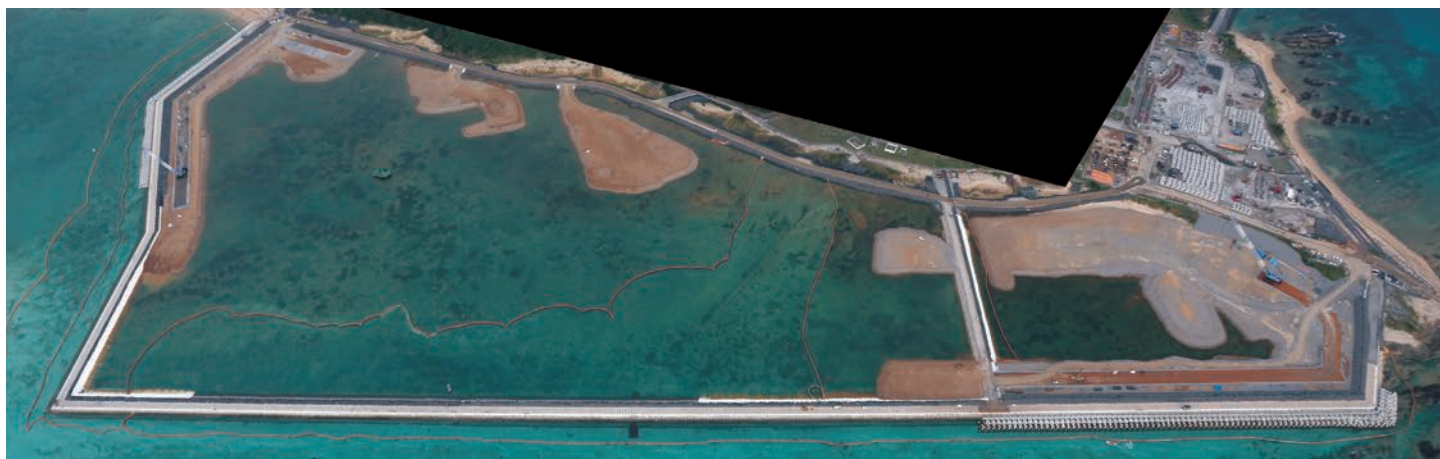
左：造成工事の状況(1)

右下：造成工事の状況(2)

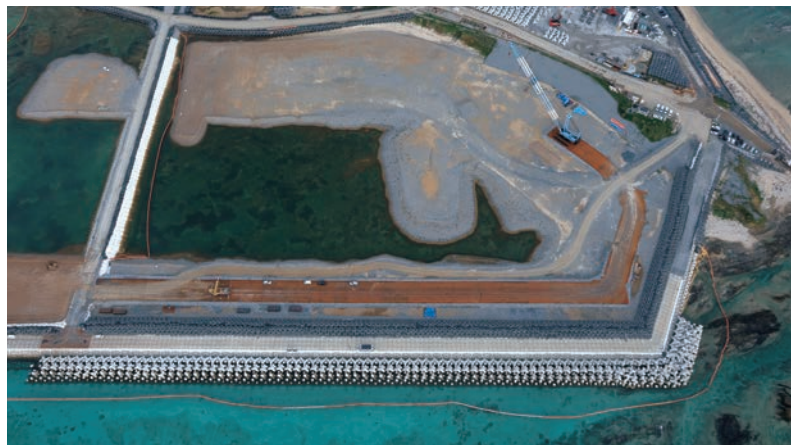
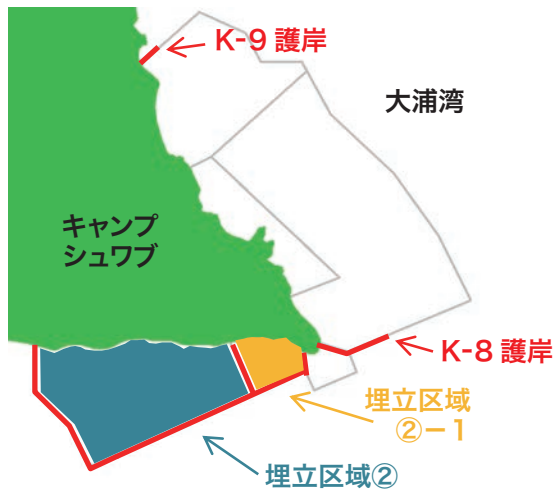
普天間飛行場代替施設建設事業について

キャンプ・シュワブにおける普天間飛行場代替施設建設事業につきましては、平成29年11月から辺野古側の護岸工事に着手し、平成30年12月14日に埋立工事に着手しました。また、令和元年6月10日にはK-8護岸の一部を概成させ、翌11日からは、K-9護岸に加え、K-8護岸からの埋立柱搬入を開始したところです。

普天間飛行場の辺野古移設をめぐる問題の原点は、市街地に位置し、住宅や学校で囲まれ、世界で一番危険とも言われる普天間飛行場の危険性の除去と返還です。当局としましては、今後とも、普天間飛行場の一日も早い全面返還を実現するため、引き続き、作業の安全に十分留意した上で、関係法令に基づき、自然環境や周辺住民の方々の生活環境に最大限配慮し、辺野古移設に向けた工事を進めてまいります。



(令和元年12月撮影)



埋立区域②-1 全景

(令和元年12月撮影)



(令和元年11月撮影)

K-8護岸 消波ブロック設置状況



埋立区域② 埋立状況

(令和元年12月撮影)

令和元年版防衛白書の刊行及び地方自治体への説明

防衛白書は、わが国防衛の現状と課題およびその取組について広く内外への周知を図り、その理解を得ることを目的として毎年刊行しており、令和元年版は刊行45回目になります。

沖縄防衛局では、平成19年度より、防衛政策や自衛隊の活動等について理解を深めていただく一助となるよう、沖縄県をはじめ県内すべての市町村を対象に防衛白書の内容について説明を行っているところです。

令和元年版防衛白書は、新防衛大綱及び新中期防について詳細に説明しています。また、新防衛大綱で重視されている米国、中国、北朝鮮及びロシアの動向に加え、宇宙、サイバー、電磁波といった新たな領域や軍事技術をめぐる動向についても詳細に説明しています。

今回の防衛白書では、令和という新たな時代を迎えたことも踏まえ、巻頭特集で、これまでの平成30年間の防衛省・自衛隊の取組及び防衛政策の変遷についても紹介しております。

さらに、昨年に引き続き、読者が紙面を読み進めながら、スマートフォンで関心のある事項の動画を再生できるAR動画を採用しております。AR動画は専用アプリをダウンロードすることで、防衛省・自衛隊の活動などをご覧いただけます。

防衛白書は官報販売所や一般の書店等で販売されているほか、防衛省ホームページ (<https://www.mod.go.jp/>) には、防衛白書の本冊、本冊の英語版及び外国語ダイジェスト版が掲載されています。また、民間電子書籍市場 (kindle など) において無料でダウンロードができます。



令和元年版防衛白書 (表紙)



當山嘉手納町長 (左奥) に説明をする
竹内沖縄防衛局次長 (右奥)



AR (拡張現実) を活用した
動画視聴の様子

令和元年度在日米軍従業員永年勤続表彰式典

日米共催による令和元年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式が10月16日に沖縄市民会館にて開催され、734名(10年表彰248名、20年表彰305名、30年表彰177名、40年表彰4名)の方々の功績が称えられました。

表彰式は、日米の主催者である田中沖縄防衛局長及び海兵隊太平洋基地海兵隊バトラー基地司令官ウィリアム J. パワーズ准将の式辞に始まり、陸軍、海軍、空軍、海兵隊、AAFESの各軍受賞代表者に田中局長及び各軍司令官から、それぞれ表彰状と記念品が贈られました。続いて、来賓の富川盛武沖縄県副知事、赤嶺昇沖縄県議会副議長、在沖米国総領事館ロバート・ケプキー総領事及び與那覇栄蔵全駐労沖縄地区本部執行委員長からの温かい祝辞の後、受賞者を代表して空軍の東江榮様が、勤続40年の想いを込めて答辞を述べられ、厳かに表彰式は終了しました。

表彰式後の懇談会では、従業員同士、または司令官を囲んで談笑したり、記念撮影を楽しむ姿が見受けられ、多くの出席者の笑顔に満たされて式典は終了しました。



表彰式の様子



表彰を行う田中局長(左)、パワーズ准将(中)

辺野古区・豊原区民運動会開催

日差しが和らぐ秋空の下、心地よい秋風が吹き抜ける11月3日、辺野古区及び豊原区民運動会が開催され、古波蔵辺野古区長、宮城豊原区長の挨拶をかわきりに熱戦が繰り広げられました。

辺野古区においては、キャンプ・シュワブからも多数の海兵隊員や家族が11班として参加し、区民との交流を深め大会を盛り上げました。

また、当局職員も辺野古・豊原両区の運動会の競技等に参加し、区民とこれまで以上に親睦を深めた1日となりました。



古波蔵区長の挨拶(辺野古区)



宮城区長の挨拶(豊原区)



接戦の職域リレー(豊原区)



白熱した代表リレー(辺野古区)



ハイサイくん

「はいさい」に対する皆様のご意見・ご感想などありましたらお聞かせください。

連絡先：沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納290-9 沖縄防衛局総務部報道室

メールアドレス：houdou-ok@okinawa.rdb.mod.go.jp